ご意見・ご要望をお寄せください。
メール：info@jcp-shinjuku.com

日本共産党 新宿区議団ニュース

2011年11月号　新宿区議会第3回定例会　9/15〜10/13報告

発行：日本共産党 新宿区議団
住所:新宿区歌舞伎町1-4-1
TEL:03-5273-3551 FAX:03-3200-1474

脱原発・再生可能エネルギー促進を
子どもたちを放射能汚染から守る対策を

新宿区議会第3回定例会が開催され、日本共産党区議団は子どもたちを放射能汚染から守る対策を求めるとともに、区長が脱原発の姿勢を明らかにし、再生可能エネルギーを促進するよう求めました。本会議の代表質問で田中のりひで議員が区の対応を質したのにつづき、決算特別委員会では、近藤なつ子議員が総括質疑で、沢田あゆみ議員がしめくくり質疑で取り上げました。

第3回定例会の本会議や決算特別委員会等の主な質問と区長の回答

脱原発

区議団 **「脱原発」の立場に立つべき。**

区長 現状のまま原発を運転することは適切ではない。国民全体でエネルギー政策の将来を検討する必要がある。

再生可能（自然）エネルギー

区議団 **再生可能エネルギーの普及・啓発と目標の引き上げを。**

区長 環境基本計画見直しの中で検討する。

区議団 **太陽光発電システム助成制度を拡充すべき。**

区長 1件あたりの助成額を減らして件数を増やす。

区議団 **太陽光発電を本人負担ゼロで設置し、後日回収する制度を民間事業者と共同で創設を。**

区長 可能性を研究し検討したい。

空間放射線量の継続測定

区議団 **放射線測定器を子どもの施設に配備し、定期的に継続調査を。**

区長 測定結果は年間1ミリシーベルトに満たない。低いレベルで安定しており、新たな事態が起きなければ現在行っている2カ所以外定期的に測る必要はない。測定器を区民に貸し出している。

給食の放射線量測定

区議団 **食品の検査機器を区が購入して独自に検査すべき。**

区長 消費者庁が自治体に検査機器貸与を計画しており、これを借りられれば検査を検討する。

区議団 **借りられなかったら検査しないのか。**

区長 国が貸すのは200〜300万円の機器なので、必要なら業者に委託して検査する。

区議団 **給食食材の産地表示は、区や教育委員会が一括集約してホームページに掲載を。**

区長 負担が重いので現行どおり各施設に掲示する。各学校にはホームページに掲載するように求める。

区議団 **安全な給食の食材を確保するための予算を確保せよ。**

区長 食品検査機器を国から借りられたら、検査に必要な食材費は予算措置する。

放射線量の基準値

区議団 **東電の事故後基準が緩和され、特に子どもの健康への影響を心配している。せめてWHO並みの基準にするよう国に要望を。**

区長 汚染されてしまった中で生きていくことと、健康を守ることのために国が基準作りをしていると思う。特別区長会を通じて一日も早く基準値を定めるよう要望した。

新宿区の放射線量測定の取り組みと結果

区議会第2回定例会で沢田あゆみ議員が空間線量測定を求めて以降、新宿区は独自に測定を実施し、プール水や砂場の土壌も外部の分析機関に出して検査しました。また、9月には学校や保育園の給食サンプル検査も行いました。
結果はいずれも区のホームページで公表しています。

●空間放射線量

区内の公立・私立の小・中学校、保育園・幼稚園、児童館、公園等201施設で、校庭・砂場・排水溝、プールサイドなど4カ所を測定。この中では年間1ミリシーベルトを超える場所はなかったとのこと。

●給食サンプル検査

9月7日の学校・保育園等20施設の給食と牛乳を外部分析機関で調査し、結果はいずれも「不検出」。

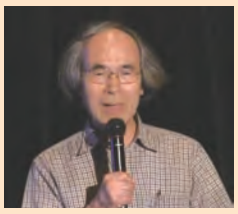
●プール水

区内公立・私立の小・中学校の屋外プール40カ所の検査結果は、いずれも「不検出」。

●土壌

保育園、公園など9カ所を測定。結果は区のホームページで。

「原発事故と放射能汚染」講演会に160名が参加



8月29日夜、矢ヶ崎克馬琉球大学名誉教授を講師に「原発事故と放射能汚染」の講演会を新宿文化センターで開催。食品などから体内に取り込む内部被爆のメカニズムと危険性を中心に学びました。当日は160名の方が参加し、会場からの質問にも先生が丁寧に答えました。講演内容を日本共産党区議団ホームページや、YOUTUBEにアップしました。ぜひご覧ください。

空間放射線量を調査しています

日本共産党区議団は、新宿区が測定しなかった箇所を独自に測定しています。10月8日と9日には、大山とも子都議会議員や地域のみなさんと一緒に北新宿、高田馬場3丁目、都立戸山公園で測定。地上5cm地点で毎時0.3マイクロシーベルトを超える箇所もありました。測定希望の場所があれば、ご連絡ください。

各議員は、定例の法律・くらしの相談会を行っています。お気軽にお問合せください。

雨宮たけひこ
左門町12 ライジングプラザ5A
電話 090−1544−5088

沢田 あゆみ
西早稲田2-19-1共美ビル101
電話 090-3088−9591

あざみ 民栄
市谷加賀町2-6-1　D-302
電話 090-1802-4520

川村のりあき
西落合1-32-18
電話 090-9330−9004

佐藤 佳一
北新宿1-6-16-602
電話 090-2641−8431

あべ 早苗
新宿7-16-13
電話 090-4015-8151

近藤 なつ子
戸山1-16-16-310
電話 090-4849-3227

田中のりひで
上落合1-1-15-302
電話 080-5483-5516

代表質問

田中のりひで議員

保育園の待機児童解消を

新宿区の待機児童数は、8月1日現在、新定義で75人、旧定義で113人と年度当初よりは減少していますが、早急に定員拡大しなければ、これから年度末に向けて増えることは確実です。

田中議員は、①国家公務員宿舎跡地等の確保、②家庭的保育事業や、認可保育園の分園設置による定員拡大、③財源確保のためのマンション事業者に対する「公共施設整備協力金制度」の創設を要求。区長は①**区財政の状況を考慮すると国有地の取得は慎重に判断する、②家庭的保育事業の運営を支援する、認可保育園分園の設置を検討、③現行の『大規模開発等に伴う保育施設の設置に係る協力の要請に関する要綱』で整備を進める**と答弁しました。

国民健康保険料と後期高齢者医療保険料の引き下げを

国保料の計算方式が変わり多くの方が値上げになりました。田中議員が「激変緩和の終わる2年後の値上げはやめること」を求めたところ、区長は**激変緩和の考え方はその時点で判断する**と答弁しました。

「後期高齢者医療保険制度の廃止を国へ、また保険料の引き下げを区長会等で要求すること」を求めましたが、**来年の法案提出等、推移を見守る。都広域連合には急激な負担増にならないよう働きかける**と消極的な答弁でした。

「子ども・子育て新システム」について

国で検討中の「子ども・子育て新システム」は、自治体の役割を「保育の必要度の認定」とそれに応じた補助金の支給に限定し、保護者は自分で保育園を探して直接契約をする、まさに保育の介護保険化です。

「子ども・子育て新システム」には反対を表明すべきと質しましたが、**検討の推移を見守る**との答弁にとどまりました。

落合地域図書館に福祉施設併設を

中央図書館移転後の跡地に設置予定の落合地域図書館について、①どのような地域図書館をつくるか住民参加で検討できないか、②地域図書館ができるまで当該地域は図書館空白期間ができるので、その間学校図書館の活用等ができないか、③落合地域図書館は直営で行なうこと、④福祉施設の併設を求めました。

教育委員会は、①**区民や利用者の意見の反映方法は地域図書館の基本的な考え方をまとめる中で検討、②学校図書館の活用を検討、③直営ではなく指定管理者にする予定④福祉施設の併設を検討**と答弁しました。

一般質問

あざみ民栄議員

特養ホームを増やして介護職員の処遇改善を

特養ホームの待機者は5月現在、1264人で増設は待ったなしです。あざみ議員が、来年売却予定の市谷薬王寺町の国家公務員宿舎跡地等の活用を求めたところ、区は**公有地の活用による整備の可能性を検討する**と答弁しました。

あざみ議員は、区内の特養ホームで職員の入れ替わりが激しく、残業や労働強化が常態化しているところがあることを指摘し、介護職員の労働環境を改善しサービスの質を高めるために、区が事業者を公募する際に、労働環境の基準を設定することを求めたところ、**検討する**との前向きな答弁を引き出しました。

また、千代田区が行っているような、職員の住宅手当の上乗せ費用や非正規職員の正社員化に要する費用の助成を求めましたが、区は**すでに研修と介護福祉士取得費用助成を行っているとし、給与への補助は慎重であるべき**と消極的な答弁でした。

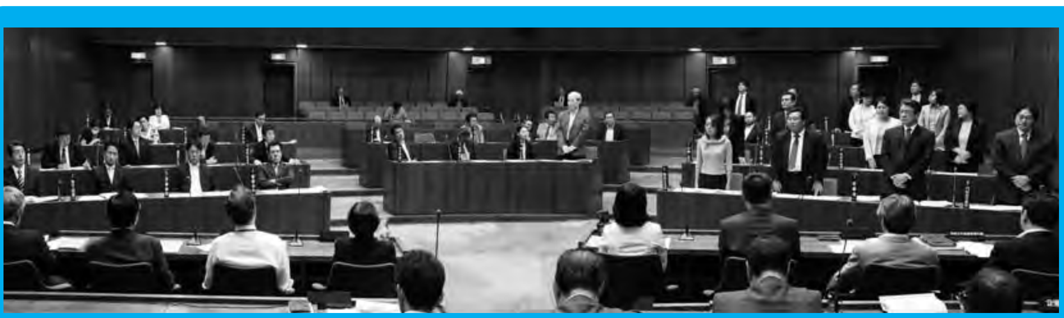
川村のりあき議員

落合第五幼稚園と中井保育園の子ども園化は保護者・区民の意見をよく聞いて

川村議員は、落合第五幼稚園と中井保育園の子ども園化にあたり、保護者の合意を得る過程がずさんであることを指摘し、説明会を頻ぱんに行うこと、保護者との意思疎通を図り意見を取り上げること、教育・保育内容を保護者も含め検討すること等求めました。区は**説明会を開催し、さらなる意思疎通を図る。保護者の要望も踏まえ保育・教育、行事のあり方を検討する**と答弁しました。

また、両園の子ども園化は園舎が2カ所に離れているため、職員を増配置すべきとの質問に対し、区は**検討している**と答弁。

保育園型の子ども園になるため幼稚園教諭はいなくなります。幼稚園保護者から先生を「一人残してほしい」との要望があり、特段の配慮を求めましたが、区は**幼稚園・子ども園全体の配置計画や人事異動の中で検討する**と答弁しました。



あべ早苗議員

日本共産党区議団

心身障害者福祉手当条例の改正を提案

現在新宿区の障害者手当は、精神障害者は対象外となっています。1993年に障害者基本法が改正され、身体、知的、精神の3障害は等しく障害者と位置づけられていますが、残念ながら身体・知的と精神との格差は、解消されていません。

障害者手当の対象に精神を加える条例改正提案は今回で4回目となります。23区では、品川区が障害1級の方に限定して月額4500円の手当を支給、杉並区も1級の方に5000円の手当の支給を開始しました。今回の条例提案は、1級の方を対象に提案し、福祉健康委員会では、「3障害一元化をすすめるべき」との意見がだされた一方で、「本来国が対応すべき」との意見もあり、残念ながら否決されました。引き続き区民のみなさんと運動をすすめます。

心身障害者福祉手当条例改正案採決結果
（賛成15：反対22）

共産	自民	公明	民無ク
○	×	×	○
み無会	社会	主権	花マル
×	○	×	○

（○賛成、×反対）
※民無ク：民主・無所属クラブ
み無会：みんな・無所属の会　主権：区民主権の会

決算特別委員会 9月20日～10月3日

区の財政力を生かし、区民が安心して生活できるよう支援を！

基金残高 467億円

2010年度の決算は、実質単年度収支が2年連続赤字になったものの、基金残高（区の貯金）が467億円、区債現在高（区の借金）は12年連続減少し259億円になり、様々な財政指標を見ても、区財政は健全に推移していることが明らかになりました。

決算特別委員会の質疑では、区の財政力を活かし震災対策や放射能汚染対策を強化するよう強く求めました。また、リーマンショックに加え震災や円高が追い打ちをかけ、区民生活が厳しさを増す中、安心して生活できる支援策を提案し論戦しました。

質疑を通じ、区議団が要求してきたがけ・擁壁の耐震改修工事への助成、給食や市場の食品の放射線量検査、認証保育所保育料助成の拡充などが実現する見通しとなりました。しかし、今後4年間特別養護老人ホームを一ヵ所も増やさず、高すぎる国保料や介護の負担軽減、介護サービスの充実に消極的であり、区立保育園の廃園計画を撤回しない、二ヵ所に分かれる分園方式の子ども園の問題解決策を明示しない等の姿勢だったため、認定に反対しました。

近藤なつ子議員

大震災での住宅修繕費用助成を

大震災で被災した住宅の修繕費用を助成することや、放射線量の安全判断は震災前の厳しい基準で行うよう主張。

沢田あゆみ議員

食品の放射能検査と太陽光発電の普及を求める

市場に出回っている食品の区独自の放射線量検査を約束させ、太陽光発電システム等の普及拡大を求めました。

佐藤佳一議員

学童擁護員の増員の検討 給食調理室の順次改善を確認

学童擁護員の来年度からの増員検討を約束させました。給食調理室のドライ・冷房化が来年度から順次改善されることも確認。

雨宮たけひこ議員

町会掲示板を引き戸式に改善するための財政支援を

区民の情報源となっている町会所有の掲示板を風雨をしのげる引き戸式に改善するために区が財政支援することを求めました。

被災地に支援物資を届けました

9月17日～18日の2日間、田中のりひで議員、沢田あゆみ議員、あべ早苗議員が、宮城県石巻市に物資お届けボランティアに行きました。お米、生鮮野菜、タオル、洗濯洗剤、雑貨類を、内陸部の買い物不便地域にできた仮設住宅にお届けし、たいへん喜ばれました。復旧・復興は緒についたばかりで、継続した支援が求められます。帰途、隣町の女川町でリアス式海岸の津波被害を目の当たりにし、威力のすごさに衝撃を受けました。

来年度予算に関する要求書を中山区長に提出

9月22日、「2012年度新宿区予算編成に関する要求書」を中山弘子区長に提出しました。来年は新宿区の「第二次実行計画」初年度にあたり、区の事業の見直し再編が行われる年です。区民生活を守る具体策357項目の実施を要望するとともに、原発・放射能対策として12項目の緊急要望を申し入れました。

新宿区に区民の声を届けましょう！

第二次実行計画事業（2012～2015年度）（素案）第5期介護保険事業計画（2012～2014年度）（素案）が発表されました

第二次実行計画（素案）には日本共産党区議団と区民のみなさんが要望してきたいくつかの事業が盛り込まれる一方、問題のある事業もあります。また、震災対策、放射能対策という点でも不十分です。

第5期介護保険計画（素案）は3ヵ年で特養ホームを一つも増やさない計画で大変問題です。

地域説明会、パブリックコメントが行われています。みなさんの意見を積極的に区に届けましょう。

地域説明会

- 10月30日（日）午後2～4時 角筈地域センター
- 10月31日（月）午後7～9時 戸塚地域センター
- 11月2日（水）午後2～4時 落合第二地域センター
- 11月7日（月）午後7～9時 若松地域センター
- 11月8日（火）午後7～9時 榎町地域センター
- 11月13日（日）午後2～4時 落合第一地域センター

（柏木・四谷・大久保・箪笥は終了しました）

＊「区長と話そう　しんじゅくトーク」の中で、第二次実行計画、高齢者福祉保健計画・第5期介護保険計画、健康づくり行動計画、3計画の素案を説明します。フリートークもあります。

パブリックコメント

- 期間
  10月15日（土）～11月15日（火）
- 意見の提出方法
  郵送、ファックス、メール、窓口持参で受付
- 閲覧場所
  区役所、特別出張所、図書館、ホームページ

第二次実行計画（素案）にはこんなことが…

- **認証保育所利用者への支援**
  一律2万円の保育料助成を0歳3万、1～3歳2万、4歳以上1万に変更
  所得制限の導入
- **学校図書館司書の全校配置**
  小中学校40校、2校に1人配置
- **特別養護老人ホーム、ショートステイの整備**（開設2016年以降）
  中央図書館移転後の跡地に地域図書館とあわせて整備
- **擁壁・がけ改修支援**
  改修工事費用助成～15件
  コンサルタント派遣～15件
- **街路灯のLED化**
- **区立幼稚園のあり方見直し**
  今後の定員充足率の見直しや地域事情を踏まえた配置を検討
  現在18園→幼稚園10園、子ども園化3園（落合第5、東戸山）、5園廃止
- **区立保育園・幼稚園を民間委託で子ども園化**

耳より情報

家具転倒防止器具を無料で設置します！

○対　象　新宿区内に住所を有する世帯

○実施方法　器具3点まで
専門業者が設置（区が委託）

○費　用　設置工事費用は区が負担
器具購入費用は利用者が負担
（生活保護世帯は器具3点まで区が負担）

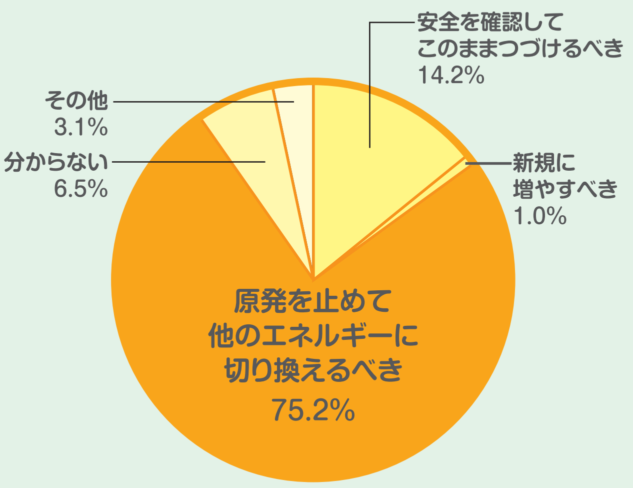
申し込み／お問い合わせ
危機管理課　TEL:5273－4592

2011（10/12現在　有効回答者1179人）
区政アンケート集計報告
ご協力ありがとうございました

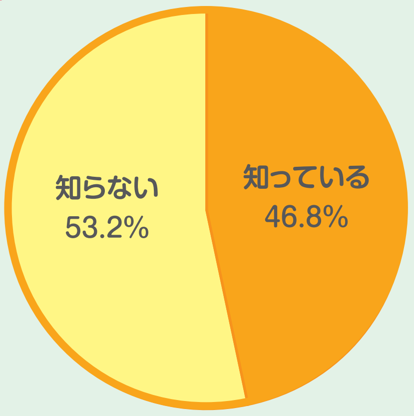
○性別構成……男 /469人、女 /621人、男女 /3組
○世帯人数……1人 /326世帯、2人 /428世帯、3人 /185世帯、4人 /114世帯、5人以上 /50世帯
○年代別……10代 /3人、20代 /39人、30代 /93人、40代 /126人、50代 /173人、60～64歳 /142人、65～69歳 /137人、70～74歳 /146人、75～79歳 /136人、80歳以上 /123人

原　発

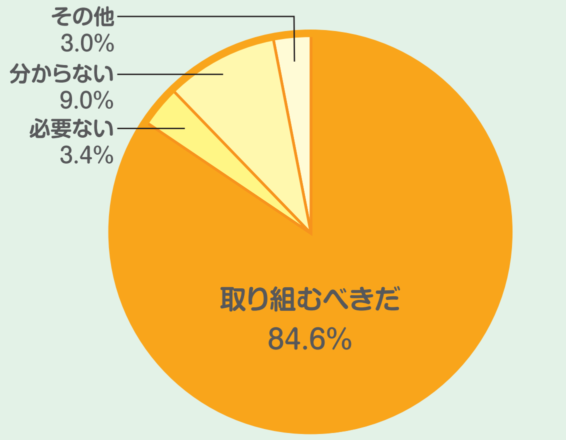
Q1 原発についてどう思いますか？



Q2 CO2削減のために太陽光発電など省エネルギーに関して区が助成を行っていることについて



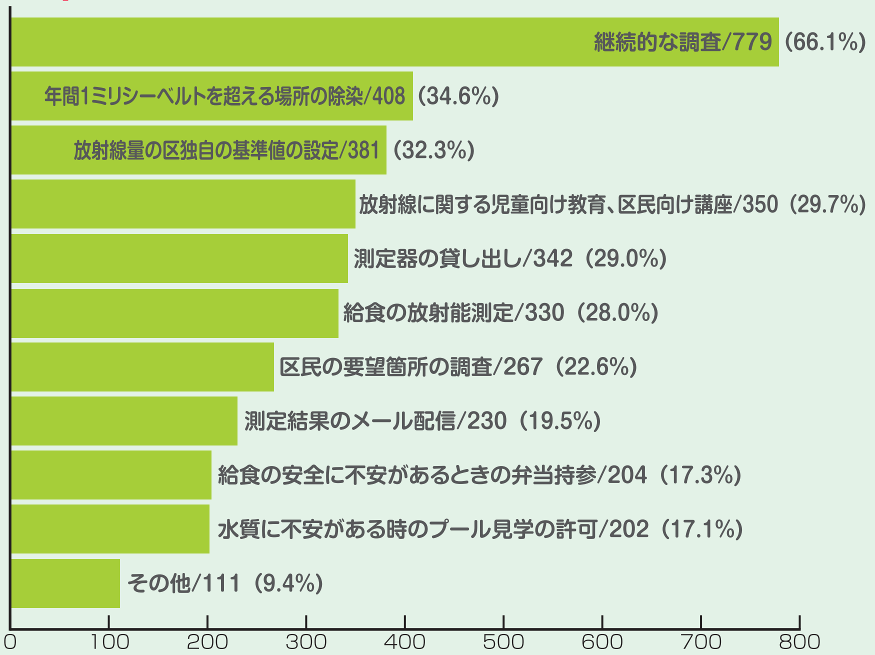
Q3 太陽光発電など新たなエネルギーに関する新宿区の取り組みについて



●原発は10年以内に太陽光·地熱·風力発電に変えるべき。（男·80代）　●太陽光発電を設置したが高すぎる。区の補助金を増額すれば利用家庭が増えると思う。（女·60代）
●原発は怖いけど、なくなると電気の供給が減るのはもっと困る。（女·40代）　●コストより安全第一（男·40代）

放射能について

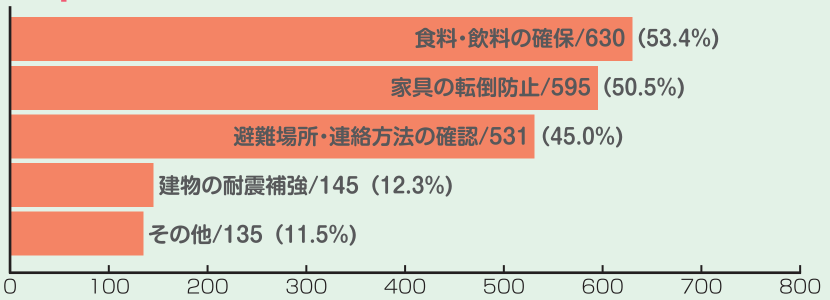
Q4 区としてさらに取り組んでほしいことは何ですか？（複数回答可）



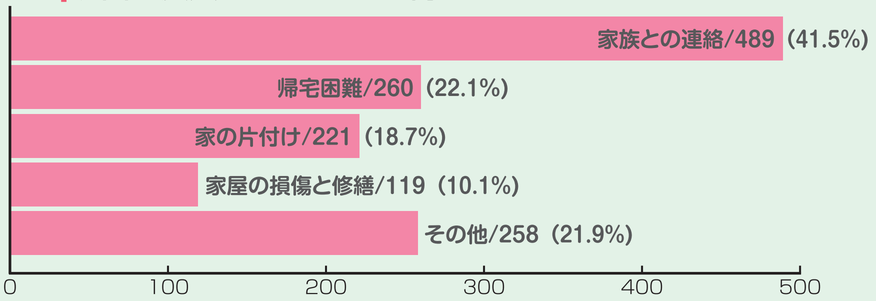
●野菜·魚·肉等の汚染がわからない。国は基準値を明示して欲しい。（女·70代）
●子供の口に入る物、給食は徹底して放射能測定して欲しい。（女·50代）
●正確な情報が必要。区は最大限調査し結果を知らせるべき。（男）
●必要以上に過敏になることの方が心配。（女·30代）

震災対策について

Q5 あなたが震災対策でおこなっていることは何ですか？



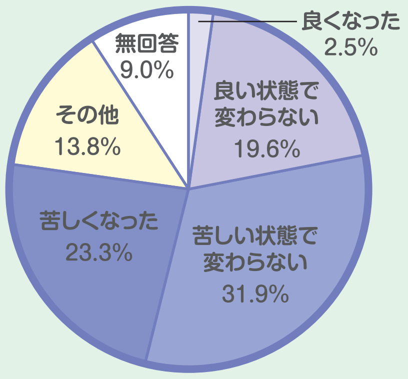
Q6 今回の震災で困ったことは何ですか？



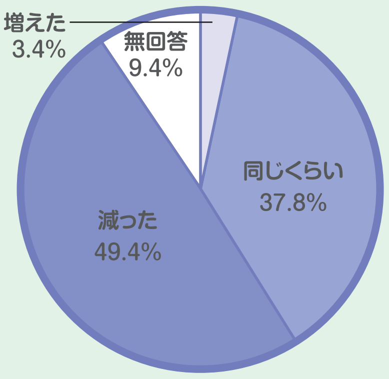
●避難場所はできるだけ近いところに。（女·70代）
●家庭での対策がまず必要。町会単位で講座などを開き防災意識の向上を。（女·30代）
●地震で壊れた屋根修理に325万円、壁修理に157万円の出費。診断を受けなかったからと補助ももらえず、年金暮らしには苦しいです。（女·70代）
●戸建て住宅の耐震化は、申告待ちでなく、区がもっと積極的に乗り出すべき。（男）

くらしむきについて

Q7 あなたのくらしむきは昨年と比べて良くなったと思いますか？

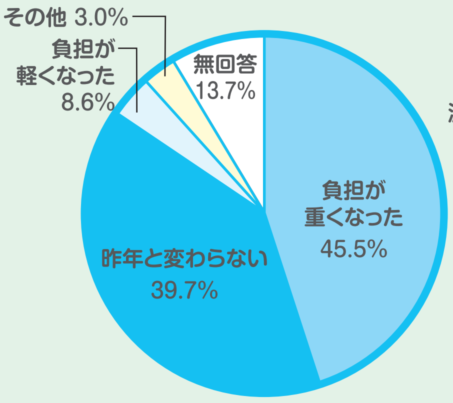


Q8 あなたの年収は昨年と比べてどうですか？

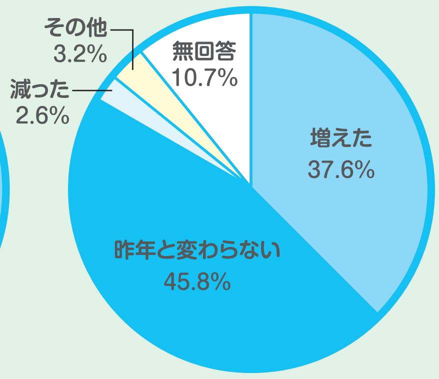


社会保障について

Q9 あなたの健康保険料や介護保険料の負担は昨年と比べてどうですか？



Q10 あなたの医療費や介護サービスなどの支出は昨年と比べてどうですか？



区民の声を反映する区政をめざして、日本共産党 新宿区議団はがんばります！

ホームページ●http://www.jcp-shinjuku.com
各区議のホームページやＥメールも区議団のホームページからリンクできます。

言いタイ、聞きタイ、広えタイ
あなたの声をなんでもお寄せ下さい。
新宿ボイス　検索
http://jcp-voice.jp/tokyo/shinjuku/